参考資料

参考－１　居住誘導区域内の人口密度

【策定当初の目標値の検証】

2010 年（平成 22 年）時点の居住誘導区域における人口は、8,629 人（平成 22 年国勢調査より算出）となっています。この値と居住誘導区域面積 222.3ha（図上計測値）から、居住誘導区域の人口密度を算出すると 38.8 人／ha となっています。

国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果を踏まえた居住誘導区域内の将来人口及び人口密度は以下のように推定されます。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2010 年（平成 22 年）	2015 年（平成 27 年）	2020 年（令和２年）	2025 年（令和７年）	2035 年（令和 17 年）
行政区域人口（人）	29,858	27,034	24,449	21,953	17,452
区域内人口（人）	8,629	7,813	7,066	6,345	5,044
人口密度（人/ha）	38.8	35.1	31.8	28.5	22.7

※行政区域人口（2015 年（平成 27 年）～）：H25 国立社会保障・人口問題研究所推計値
区域内人口　（2015 年（平成 27 年）～）：2010 年（平成 22 年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

上表に示すとおり、人口減少の進行に伴い、人口密度も低下することとなりますが、本市の立地適正化計画の目標とする居住誘導区域内の人口密度は、この国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果に基づく人口密度を確保する（下回らない）こととし、目標年次である 2035 年（令和 17 年）の人口密度を 22.7 人／ha として設定していました。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の実績値

	2020 年（令和２年）
行政区域人口（人）	24,608
区域内人口（人）	7,401
人口密度（人/ha）	33.3

一方、実績では、立地適正化計画における誘導施策の効果もあり、人口 7,401 人（令和２年国勢調査より算出）、人口密度 33.3 人／ha と策定当初の予測（令和２年：31.8 人/ha）よりも人口減少がやや抑えられています。

【新たな目標値の設定】

計画策定以降の居住誘導区域内人口の推移及び今回の見直しにおいて、居住誘導区域面積が 222.3ha から 163.9ha に変更されたことに加え、国立社会保障・人口問題研究所推計値も更新されたことから新たな目標値を設定しました。

表．居住誘導区域変更後の人口・人口密度の実績値

	2020 年（令和２年）
行政区域人口（人）	24,608
区域内人口（人）	6,543
居住誘導区域面積（ha）	163.9
人口密度（人/ha）	39.9

まず、2020 年（令和２年）時点の居住誘導区域における人口は、6,543 人（令和２年国勢調査より算出）となっています。この値と変更後の居住誘導区域面積 163.9ha（図上計測値）から、居住誘導区域の人口密度は 39.9 人/ha となっています。

策定当初と同様に、国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果を踏まえた居住誘導区域内の将来人口及び人口密度を算出すると、以下のように推定されます。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2020 年（令和２年）実績値	2025 年（令和７年）	2030 年（令和 12 年）	2035 年（令和 17 年）
行政区域人口（人）	24,608	21,331	18,788	16,454
区域内人口（人）	6,543	5,674	4,998	4,377
人口密度（人/ha）	39.9	34.6	30.5	26.7

※行政区域人口（2025 年（令和７年）～）：H30 国立社会保障・人口問題研究所推計値
区域内人口　（2025 年（令和７年）～）：2020 年（令和２年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

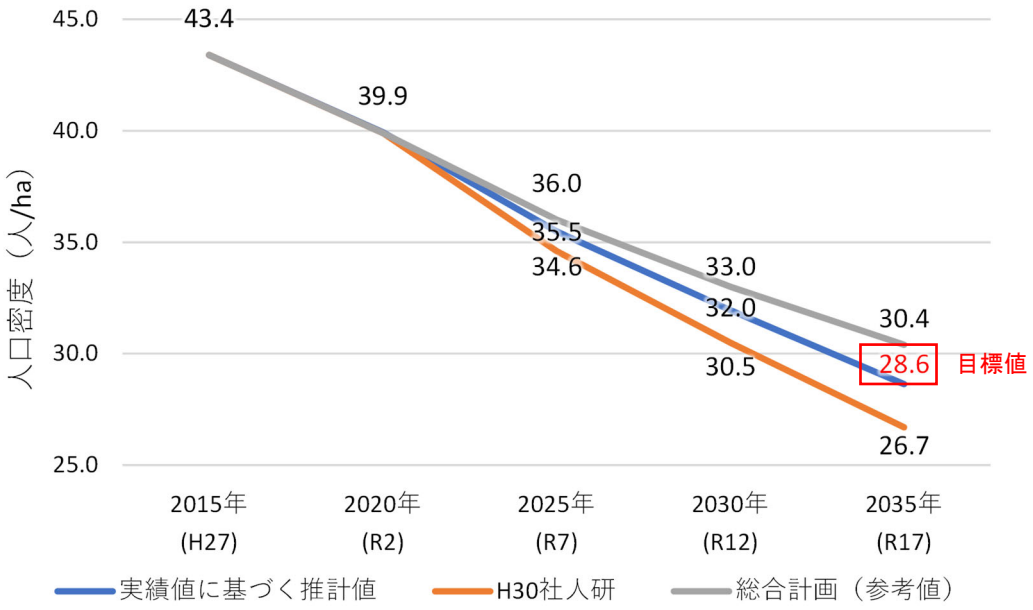
策定当初は、国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果に基づく人口密度を確保する（下回らない）こととして目標値を設定していましたが、前述したとおり、居住誘導区域内の人口減少率は策定当初よりもやや抑えられています（行政区域：-9.6%、居住誘導区域内：-8.0%）。そこで、実績値の行政区域の減少率に対する居住誘導区域の減少率が維持されると想定した場合の将来人口及び人口密度を算出すると、以下のように推定されます。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2015 年（平成 27 年）実績値	2020 年（令和２年）実績値	2025 年（令和７年）	2030 年（令和 12 年）	2035 年（令和 17 年）
行政区域人口（人）	27,216	24,608	21,331	18,788	16,454
減少率（%）		-9.6	-13.3	-11.9	-12.4
区域内人口（人）	7,112	6,543	5,816	5,237	4,694
減少率（%）		-8.0	-11.1	-10.0	-10.4
人口密度（人/ha）	43.4	39.9	35.5	32.0	28.6

※行政区域人口（2025 年（令和７年）～）：H30 国立社会保障・人口問題研究所推計値
区域内人口　（2025 年（令和７年）～）：2015 年（平成 27 年）から 2020 年（令和２年）の行政区域内人口の減少率に対する区域内人口の減少率の比率が将来も維持すると想定した値

一方で、第２次輪島市総合計画（後期基本計画）における目標人口（2040 年で行政区域人口 17,173 人）が達成された場合、2035 年（令和 17 年）の居住誘導区域の人口密度は 30.4 人/ha になると推定されます。そこで、今回の立地適正化計画改定においては、総合計画の人口密度を目指しつつ、実績値を考慮した将来人口の推計に基づき、人口密度 28.6 人/ha を目標値として設定します。



図．人口密度の将来予測

【総合戦略（策定当初）の目標人口に基づく参考値について】

本市は平成 27 年に「輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来の目標人口を 2020 年（令和２年）で 26,202 人、2040 年（令和 22 年）で 25,310 人と設定していました。この実現に向けて各種施策・事業を推進し、目標人口が達成された場合における目標年次である 2035 年（令和 17 年）の居住誘導区域の人口密度を 32.6 人／ha と推定し、目標値の参考としていました。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の予測（目標値）

	2010 年（平成 22 年）	2015 年（平成 27 年）	2025 年（令和７年）	2030 年（令和 12 年）	2035 年（令和 17 年）
行政区域人口（人）	29,858	27,143	25,457	25,134	25,111
国立社会保障・人口問題研究所推計値との差異（人）	－	＋109	＋3,504	＋5,517	＋7,659
区域内人口（人）	8,629	7,844	7,357	7,263	7,257
人口密度（人/ha）	38.8	35.3	33.1	32.7	32.6

※行政区域人口（2015 年（平成 27 年）～）：輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び輪島市人口ビジョン目標値
区域内人口　（2015 年（平成 27 年）～）：2010 年（平成 22 年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

【総合計画の目標人口に基づく参考値について】

本市は「輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方を踏襲しつつ、令和４年に「第２次 輪島市総合計画（後期基本計画）」を策定し、将来の目標人口を 2040 年（令和 22 年）で 17,173 人と設定しています。この目標人口の更新を踏まえ、目標とする人口密度の参考値を見直し、下表に示すとおり、目標年次である 2035 年（令和 17 年）の人口密度は 30.4 人／ha と推定されます。

表．居住誘導区域における人口・人口密度の予測（目標値）の見直し

	2015 年（平成 27 年）	2020 年（令和２年）	2025 年（令和７年）	2030 年（令和 12 年）	2035 年（令和 17 年）
行政区域人口（人）	27,216	24,608	22,159	20,342	18,732
国立社会保障・人口問題研究所推計値との差異（人）	－	＋483	＋828	＋1,554	＋2,278
区域内人口（人）	7,112	6,543	5,894	5,411	4,983
人口密度（人/ha）	43.4	39.9	36.0	33.0	30.4

※行政区域人口（2025 年（令和７年）～）：第２次 輪島市総合計画（後期基本計画）目標値
区域内人口　（2025 年（令和７年）～）：2020 年（令和２年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

参考－２　公共交通の１便当たり乗客数の増加率

本市の陸上交通のうち、輪島市が運営するおでかけバス及びのらんけバスの平成 27 年から令和３年の増加率は以下のとおりです。なお、愛のりバスについては、曜日や区間によって便数が異なるため対象外としています。

【おでかけバス】

	2015 年（平成 27 年）	2020 年（令和３年）	増加率（%）（H27-R3）
利用者数（人/年）※1	5,759	3,844	
便数（便/年）	3,456	3,456	
１便あたりの利用者数（人）	1.6	1.1	-31.2

※1 各コースの利用者数の合計

【のらんけバス】

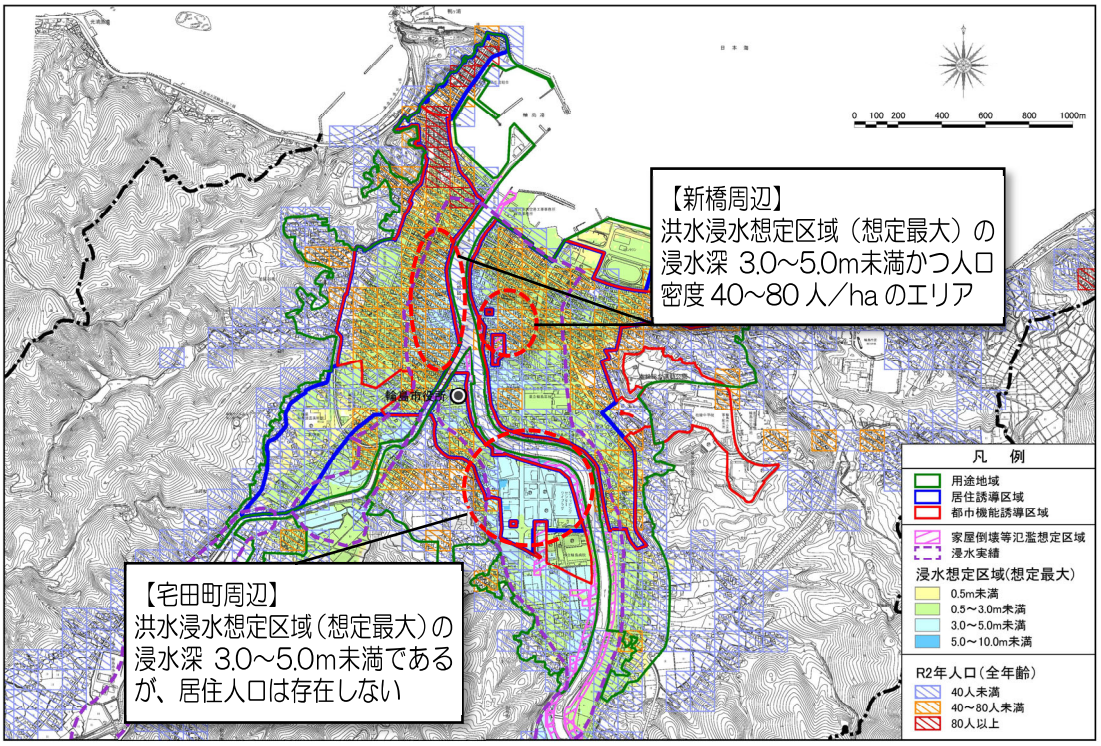
	2015 年（平成 27 年）	2020 年（令和３年）	増加率（%）（H27-R3）
利用者数（人/年）※2	50,043	26,894	
便数（便/年）※3	11,712	6,552	
１便あたりの利用者数（人）	4.3	4.1	-3.9

※2 各コースの利用者数の合計（無料乗車人数は含まない）
※3 H27 は各コース８便/日で運行、R3は各コース６便/日で運行

参考－３　災害リスク分析

（１）洪水浸水想定区域（想定最大）×人口分布（全年齢）

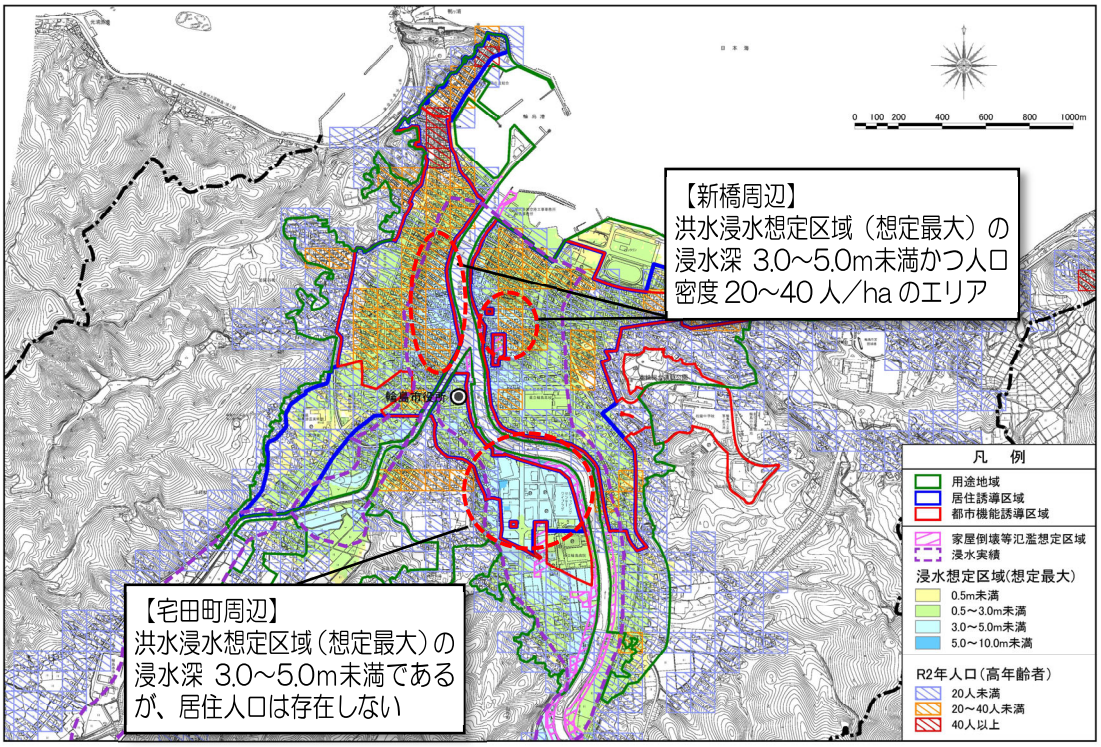
【災害リスク分析_浸水（想定最大）・100mメッシュ（全年齢）】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（２）洪水浸水想定区域（想定最大）×人口分布（高齢者）

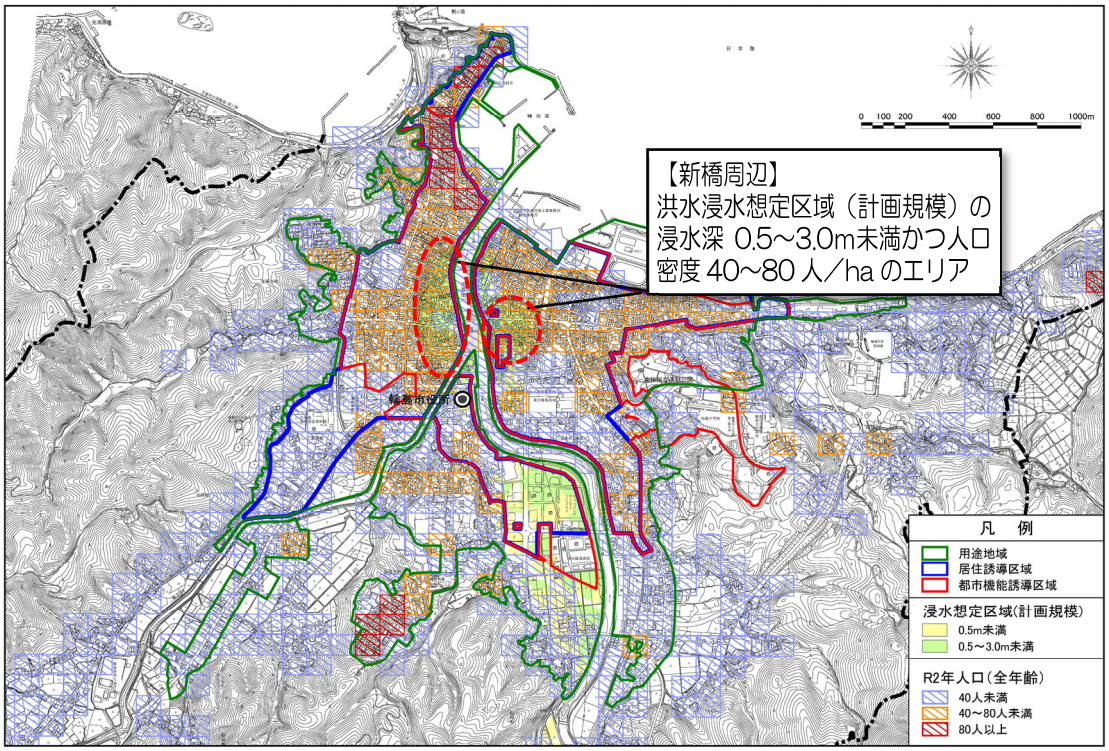
【災害リスク分析_浸水（想定最大）・100mメッシュ（高齢者）】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（３）洪水浸水想定区域（計画規模）×人口分布（全年齢）

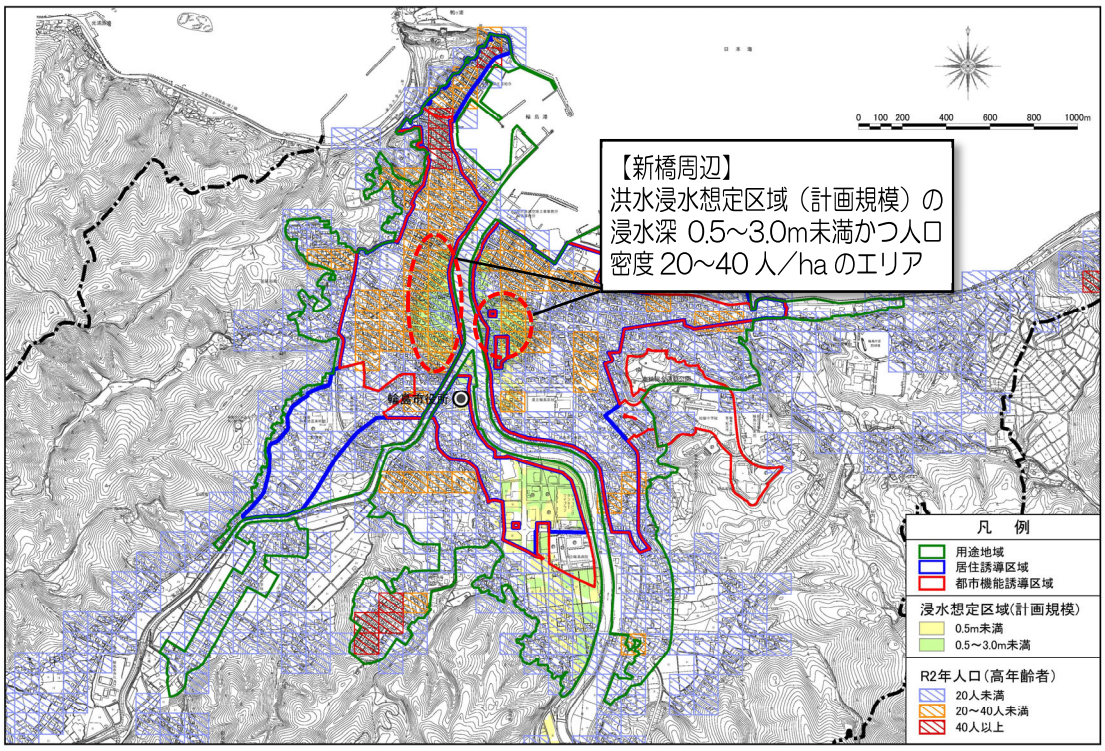
【災害リスク分析_浸水（計画規模）・100mメッシュ（全年齢）】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（４）洪水浸水想定区域（計画規模）×人口分布（高齢者）

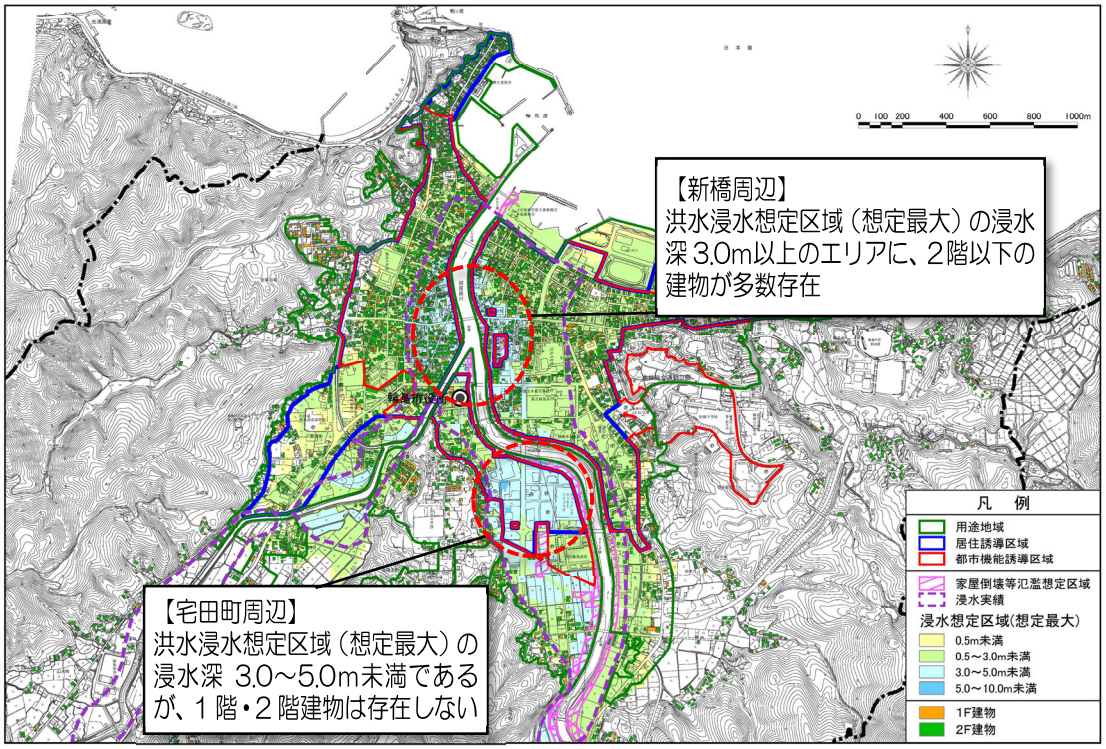
【災害リスク分析_浸水（計画規模）・100mメッシュ（高齢者）】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（５）洪水浸水想定区域（想定最大）×建物分布（１階・２階住宅）

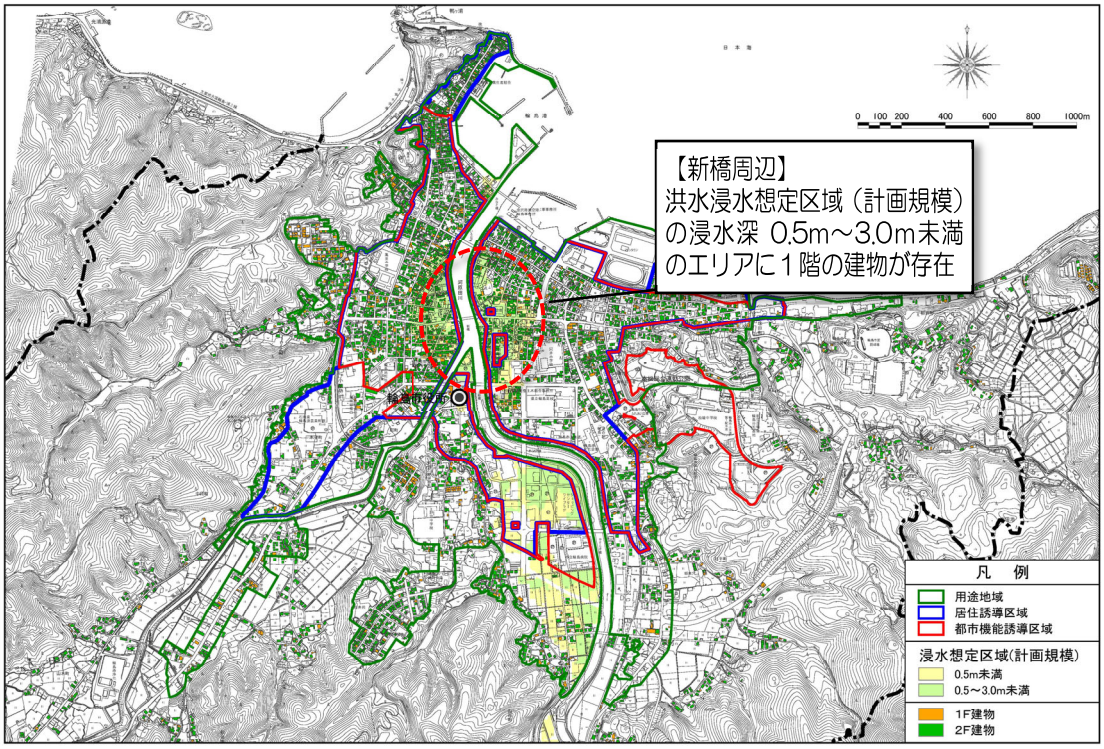
【災害リスク分析_浸水(想定最大)_1・2F建築物】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（６）洪水浸水想定区域（計画規模）×建物分布（１階・２階住宅）

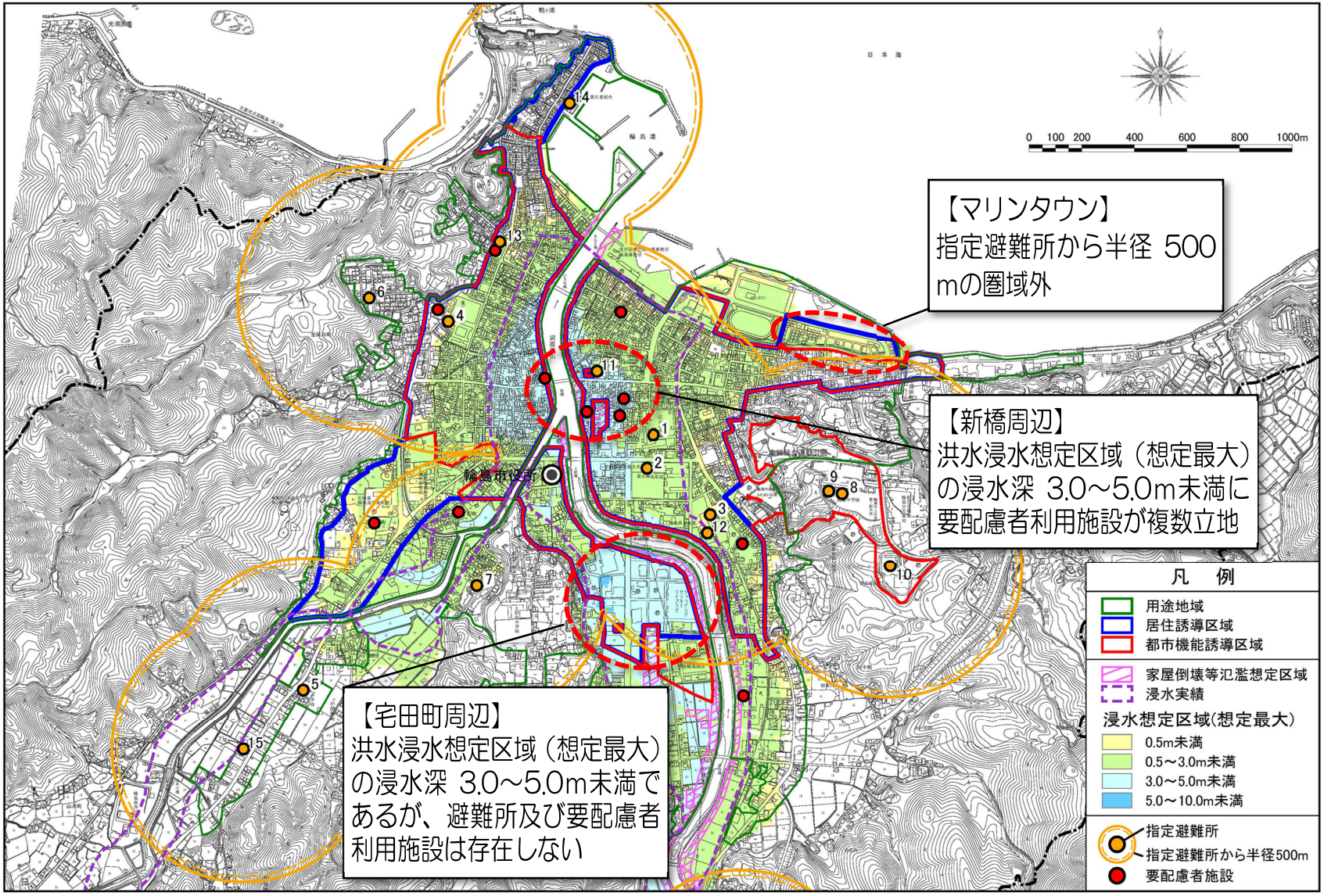
【災害リスク分析_浸水(計画規模)_1・2F建築物】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（７）洪水浸水想定区域（想定最大）×避難所及び圏域、要配慮者利用施設

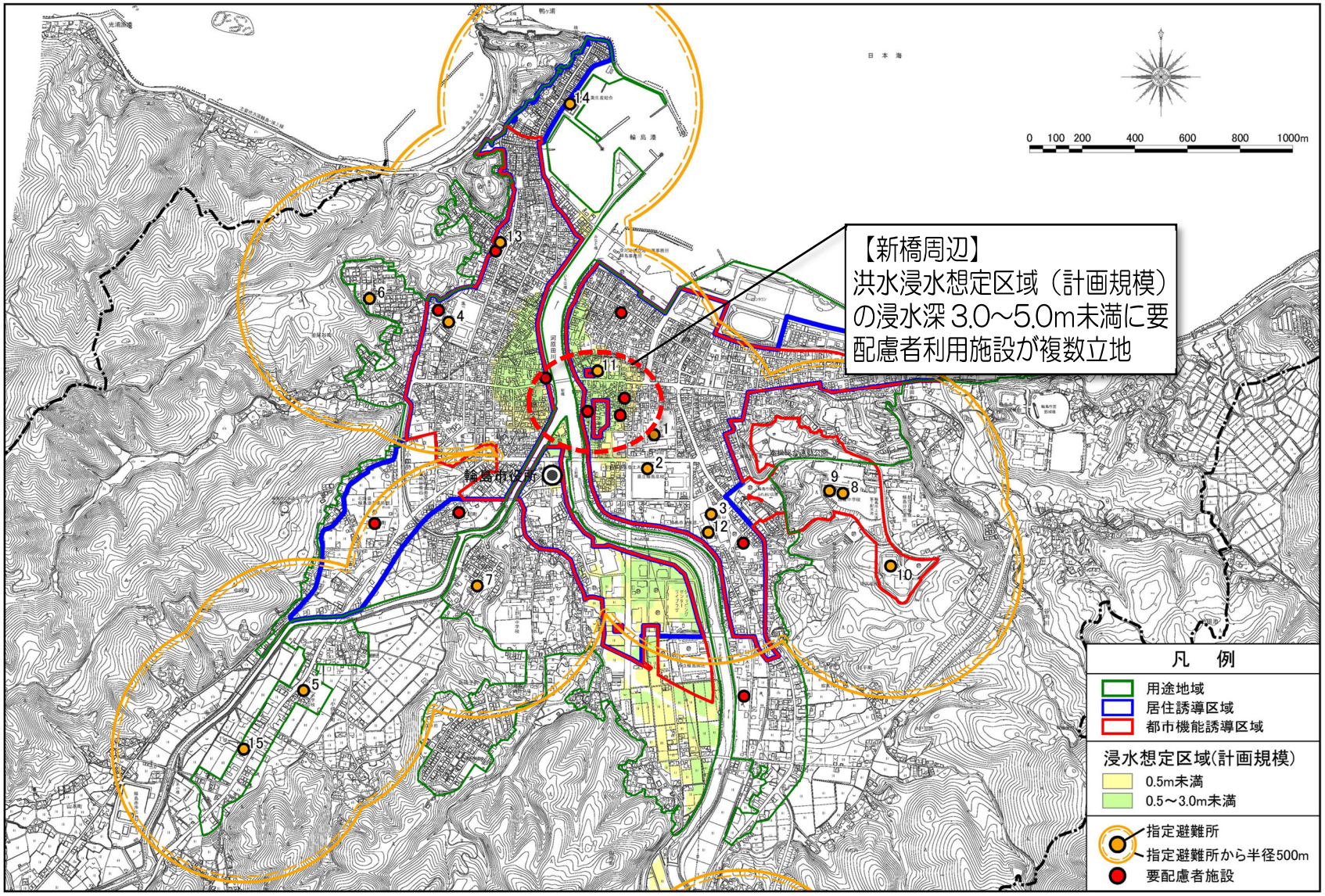
【災害リスク分析_指定避難所・圏域500m・要配慮者施設】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.４公表）

（８）洪水浸水想定区域（計画規模）×避難所及び圏域、要配慮者利用施設

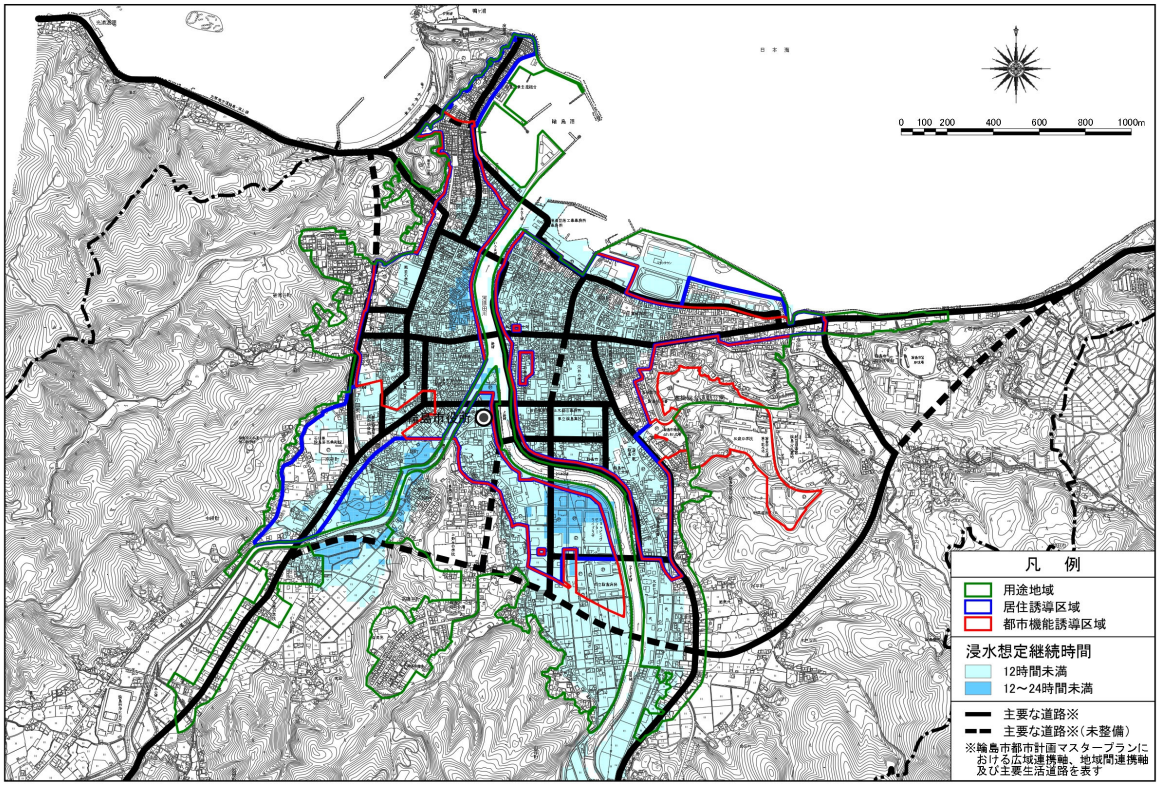
【災害リスク分析_指定避難所・圏域500m・要配慮者施設】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.４公表）

（９）洪水浸水想定区域（浸水継続時間）×道路網

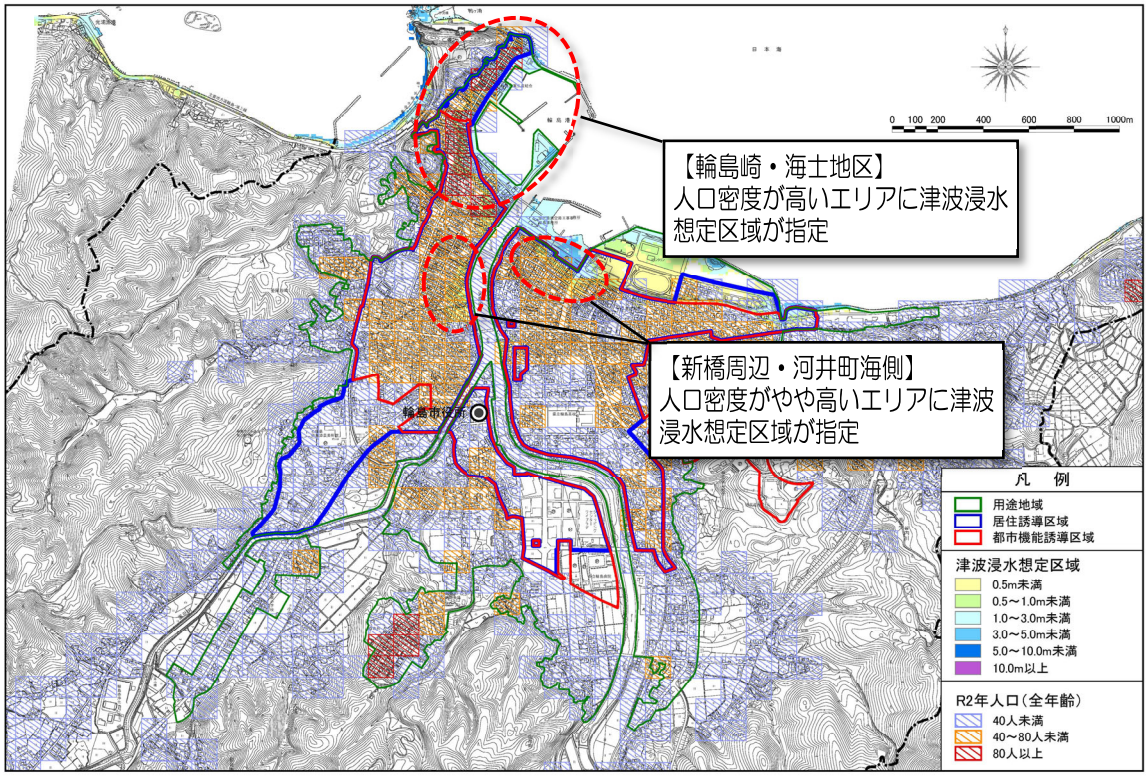
【災害リスク分析_浸水想定継続時間・道路網】



資料）石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ（R3.4 公表）

（10）津波浸水想定区域×人口分布（全年齢）

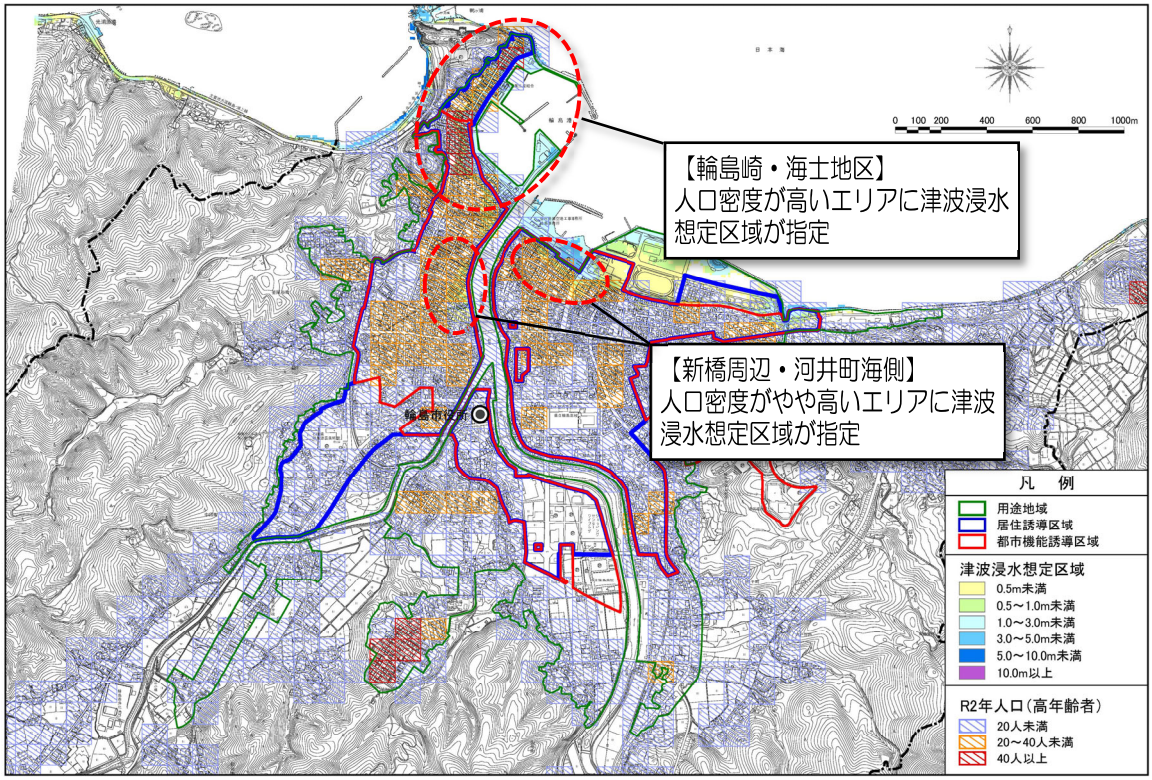
【災害リスク分析_津波・100mメッシュ（全年齢）】



資料）国土数値情報（H29 石川県津波浸水想定区域）

（11）津波浸水想定区域×人口分布（高齢者）

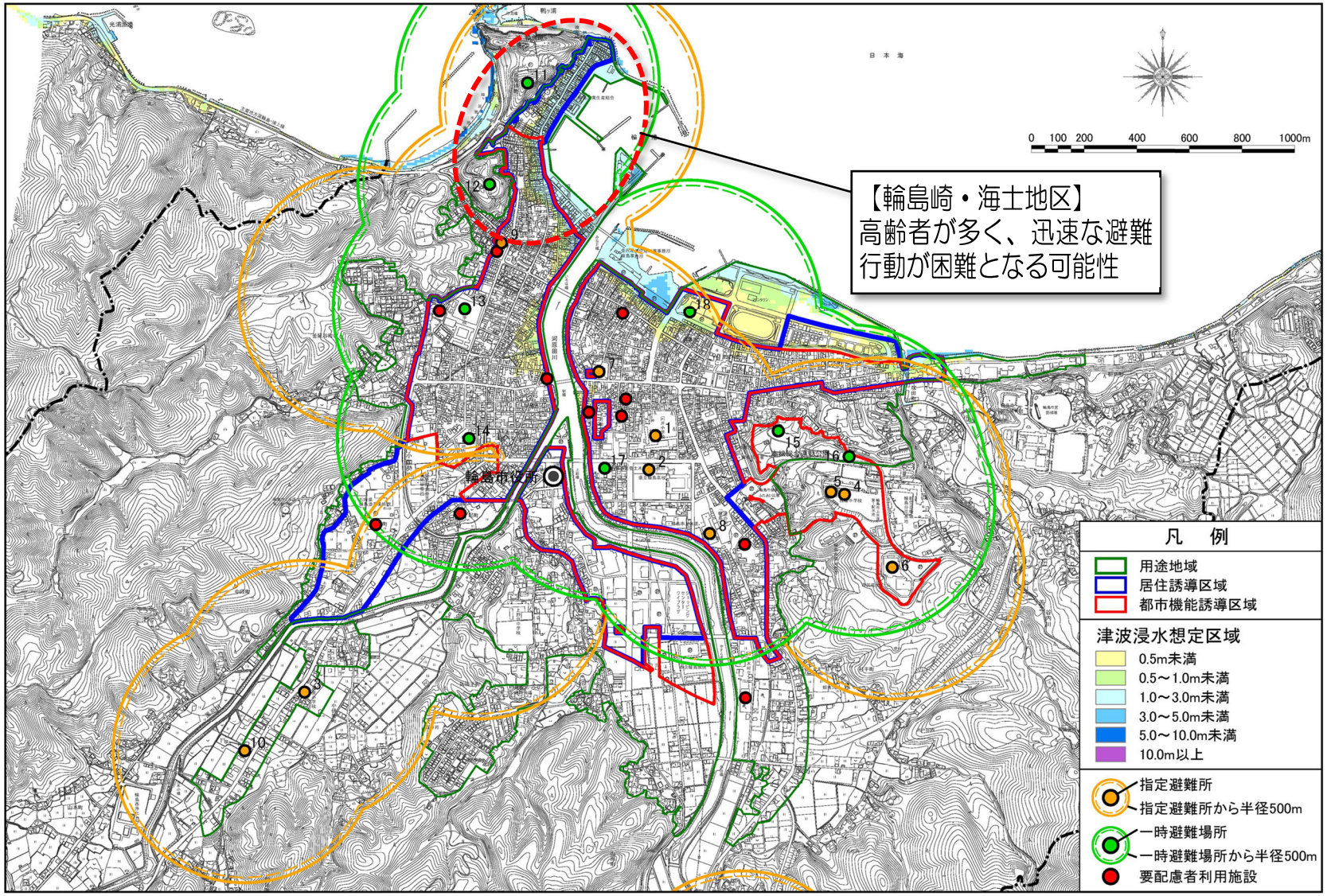
【災害リスク分析_津波・100mメッシュ（高齢者）】



資料）国土数値情報（H29 石川県津波浸水想定区域）

（12）津波浸水想定区域×避難所及び圏域、要配慮者利用施設

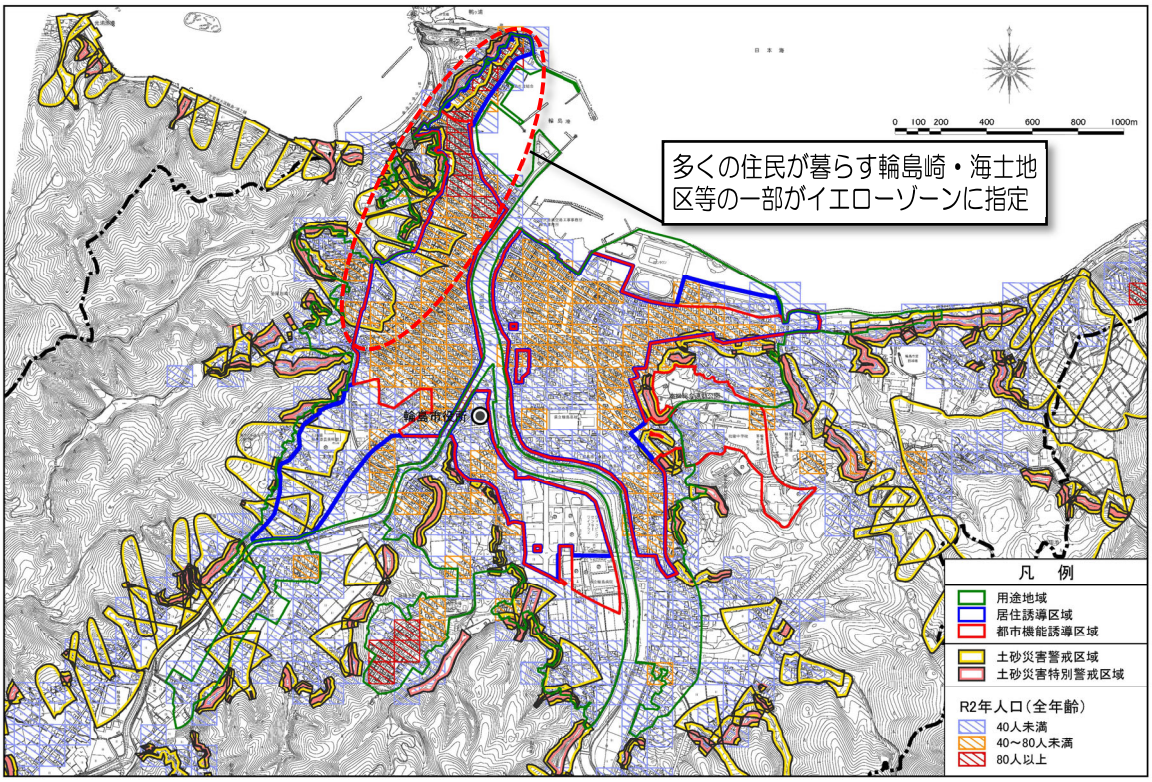
【災害リスク分析_津波・指定避難所・圏域500m・要配慮者利用施設】



資料）国土数値情報（H29 石川県津波浸水想定区域）

（13）土砂災害（特別）警戒区域×人口分布（全年齢）

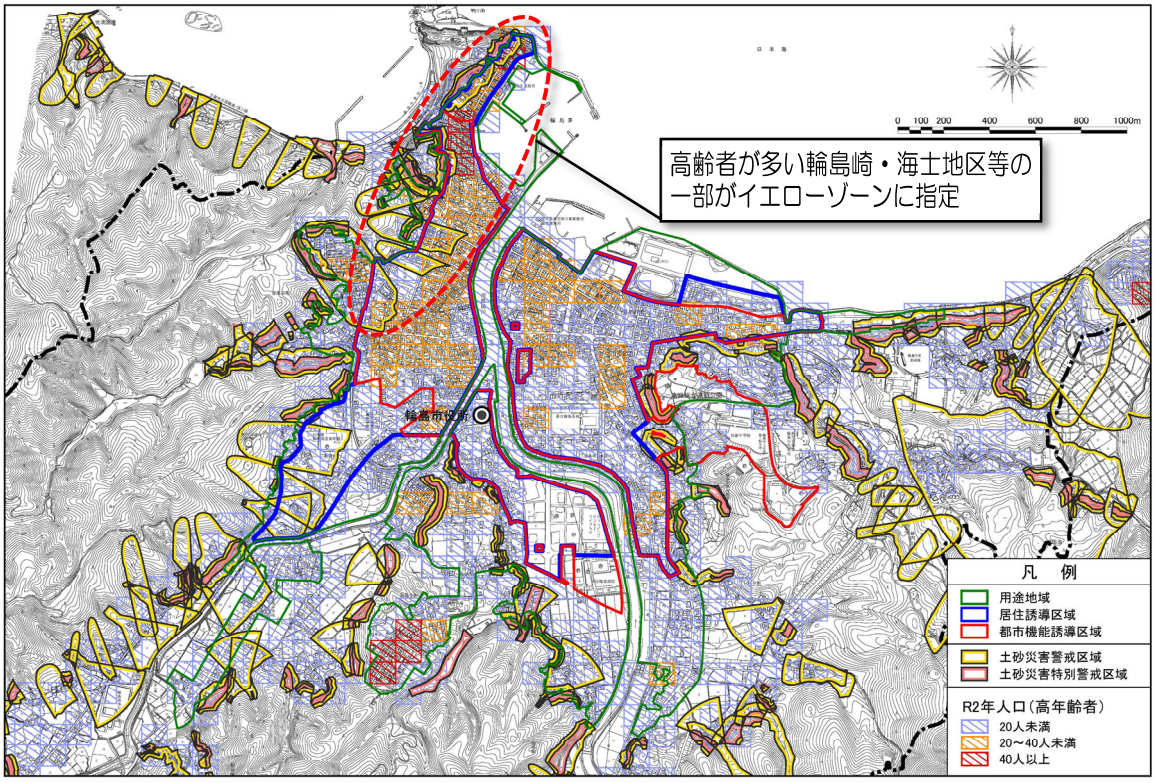
【災害リスク分析_土砂災害・100mメッシュ（全年齢）】



資料）輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R2.8 時点）

（14）土砂災害（特別）警戒区域×人口分布（高齢者）

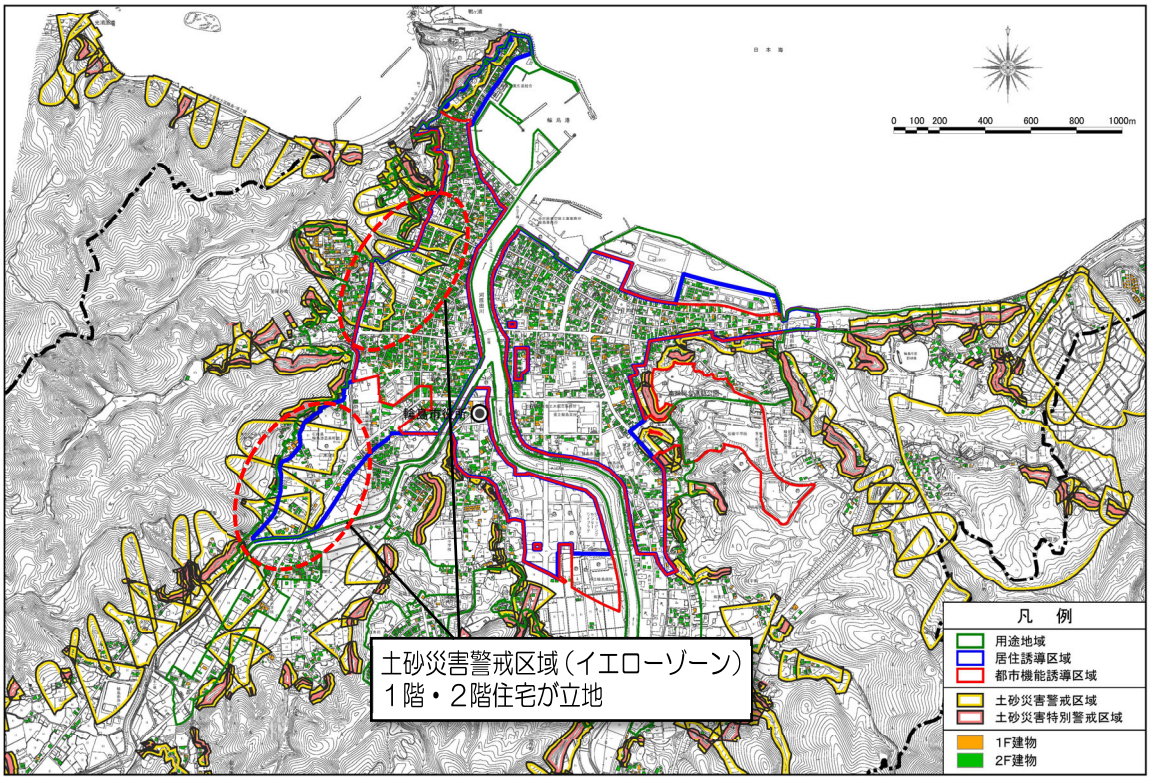
【災害リスク分析_土砂災害・100mメッシュ（高齢者）】



資料）輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R2.8 時点）

（15）土砂災害（特別）警戒区域×建物分布（１・２階住宅）

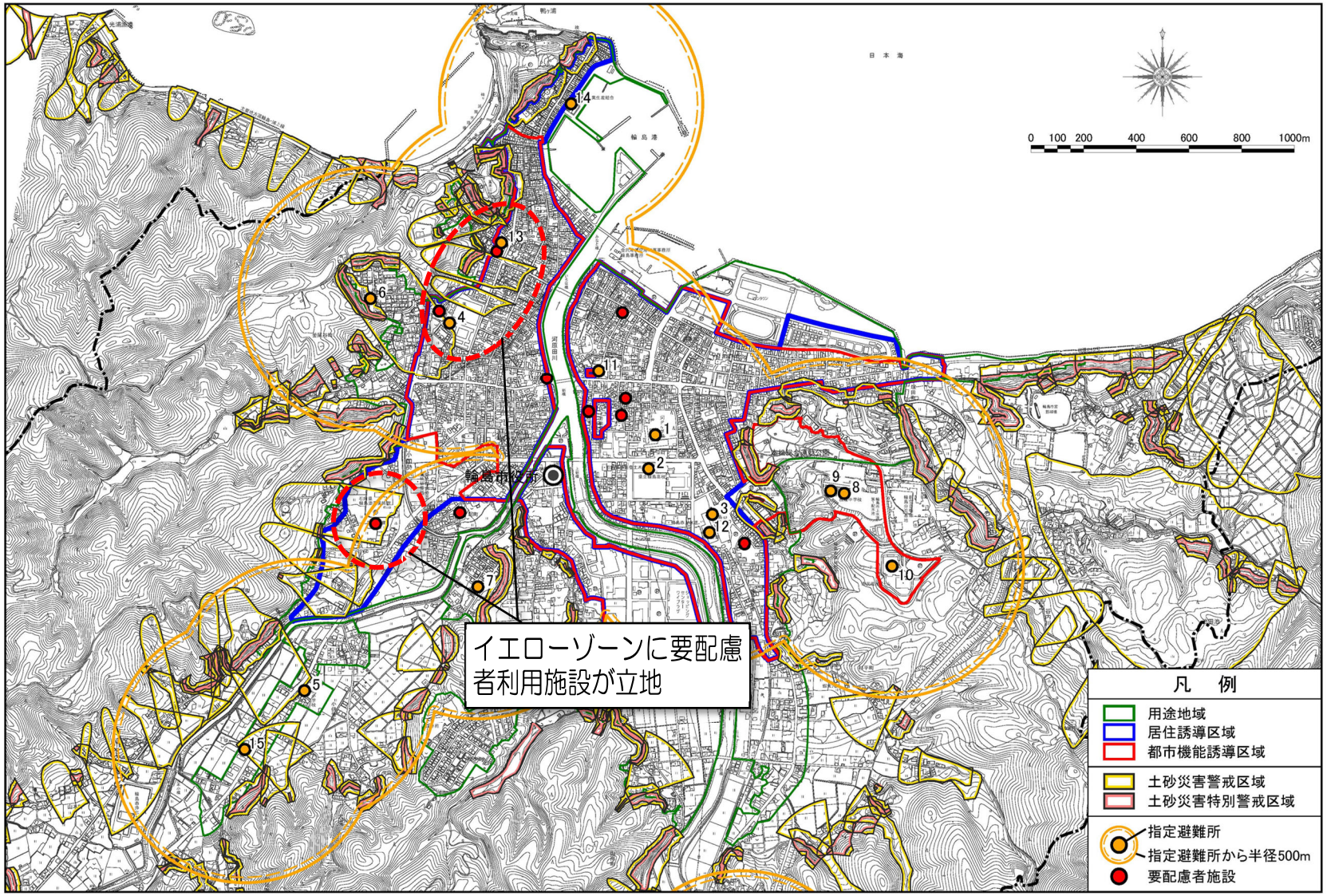
【災害リスク分析_土砂災害_1･2F建築物】



資料）輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R2.8 時点）

（16）土砂災害（特別）警戒区域×避難所及び圏域、要配慮者利用施

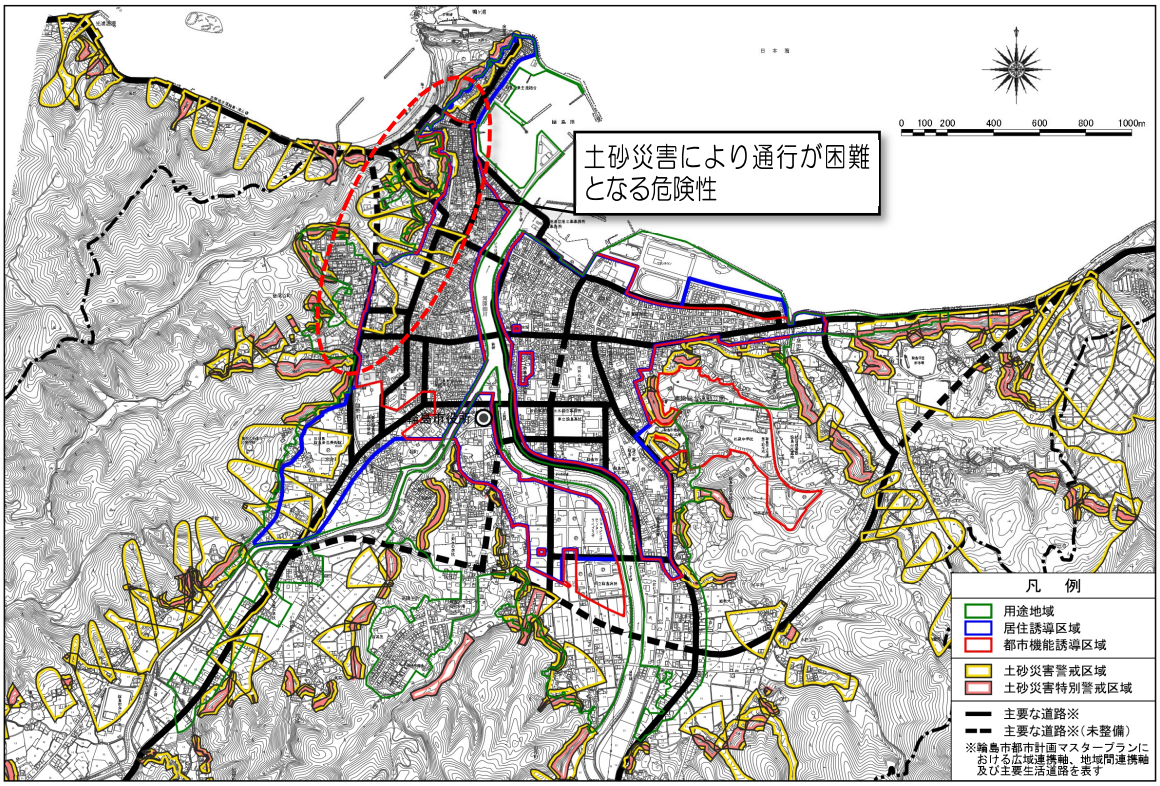
【災害リスク分析_土砂災害・指定避難所・圏域500m・要配慮者施設】



資料）輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R2.8 時点）

（17）土砂災害（特別）警戒区域×道路網

【災害リスク分析_土砂災害・道路網】



資料）輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R2.8 時点）